

令和2年度科学技術分野の文部科学大臣表彰 「科学技術賞（開発部門，科学技術振興部門）」受賞

2020年4月7日に令和2年度科学技術分野の文部科学大臣表彰が発表され、無線アクセス開発部の安部田 貞行，新 博行，島津 義嗣^{†1}，河原 敏朗^{†2}の4名が、「高度化C-RANとFDD-TDD-CAの開発」への功績により「科学技術賞（開発部門）」を受賞し、先進技術研究所の池田 大造^{†3}が、「携帯電話基地局データから生成される人口流動統計の振興」への功績により「科学技術賞（科学技術振興部門）」を受賞しました*。

科学技術分野の文部科学大臣表彰とは、「科学技術に関する研究開発，理解増進等において顕著な成果を収めた者について，その功績を讃えることにより，科学技術に携わる者の意欲の向上を図り，もって我が国の科学技術水準の向上に寄与することを目的とする」もので，文部科学大臣から授与されます。

今回，開発部門において受賞した「高度化C-RANとFDD-TDD-CAの開発」は，スモールセルとマクロセルを組み合わせるキャリアアグリゲーションをする技術で，ドコモの4G高速化に大きく貢献したことが認められ，今回の受賞となりました。本技術

は，5Gの高速化にも利用できることが認められています。

また，科学技術振興部門において受賞した「携帯電話基地局データから生成される人口流動統計の振興」は，携帯電話ネットワークの運用データを基に「人口流動統計」を開発し，交通総量と移動経路・手段別の交通量推計を可能とし，まちづくり，交通計画，防災計画，地方創生やマーケティングなど広い分野で活用されていることが認められ，今回の受賞となりました。本件はモバイル空間統計の実用化事例の成果の1つですが，モバイル空間統計は他にもAI渋滞予知やAIタクシーなどさまざまな形で活用され，昨今の新型コロナウイルス感染症対策時の人口変動分析にも活用されています。

†1 現在，日本電信電話株式会社

†2 現在，電気興業株式会社

†3 現在，サービスイノベーション部

*国土交通省 関谷 浩孝氏，新階 寛恭氏，法政大学 今井 龍一准教授，復興庁 重高 浩一氏と共同受賞

本誌に掲載されている社名，製品およびソフトウェア，サービスなどの名称は，各社の商標または登録商標。

